



田村正幸

保育園の統廃合は 保護者の声を大切にすべき

の運営は出来ないか。

町長答弁

町内11箇所で行われた説明会後の保育園統合のアンケートの結果を見ると、小学校の統廃合については大方理解がされているが、保育園の統廃合については賛成が31%、反対が56%であった。どちらでも良いが11%と少なかつたことから明快な保護者の反対の声が表示された。子育て現役世代の保護者の声は、町政運営に大変大切と考えるが保育所の統合について伺います。

質問

アンケート結果をどう判断されたか、保護者の声は反映されるのか。

町長答弁

町中心部の保護者は現在の状況には満足している。中央保育園では土曜保育を行い、一時保育も併設され

ている子育て支援センターが行っている。中央保育園に近い地域に住んでいる方や、園児数が多く保育士の数が多い保育園の保護者は現段階では統合の必要性を感じていない。しかし、未満児が激増し今後この傾向が続くと予想される。今の保育水準を保つのに、現場は保育士不足で火の車状態だ。財政的にもこれを保つていくことが困難である。

アンケート結果を踏まえて現在の状況を、各保育園で保護者会を開いていただき、再度統合の説明していきたい。

質問

今の場所がいいという声強いが、将来的に現施設を活用して、3箇所程度に集約をして、湯沢町が目指す「保育所型認定こども園」

町長答弁

今の保育水準以上のものを実現するためには、今後の園児数の傾向や保育士の減少を踏まえて、分散して保育するのではなく湯沢町のこどもをより良い同じ環境の中で、しっかりと育てたいと考え統合構想を立てた。現施設の活用については一部を除いて耐震はクリアしているが建設年次が27年30年と経過して一時的に改修しても、最終的には建替えをしなくてはならない。一箇所統合が最善と考える。

質問

統合新設の保育園の建設費はいくらか。人件費やバス等の送迎費などのランニングコストはいくらなのか。現施設を活用した場合との



湯沢保育園

差とのメリットを具体的に示すことは出来ないか。

町長答弁

建設費は概ね5億円から6億円。ランニングコストについて現時点の推定では、人件費と賃金や需用費などの物件費を合わせて七千万円ほど減額になるのではなにかと見込んでいます。現在27名の保育士と17名の臨時職員で対応している。未満児しようがい児の人数を同等とし、園児を今と同じ230人と仮定し、子育て支援

センターの職員を加えても26〜27人の保育士で現在の基準はクリアをし、休日保育や延長保育のレベルを上げていくことが出来ると考えている。現施設を活用の場合、基準面積の不足から未満児の受け入れが出来ないために、増設と改修が必要になる。費用の試算をしていないが大変古いということを考えてると現施設を使った統合は難しい。

一般質問